



クローズアップ

日光人



NPO 傾聴ボランティア “ありのまま”グループ

こころ通い合う地域社会を目指して…

福祉施設などで高齢者の不安や悩みを聞き、心の負担を軽くし、楽しく日常生活を送ってもらうことを目的として活動している、NPO 傾聴ボランティア「ありのまま」グループを紹介します。

「傾聴」とは、相手の話を積極的に、謙虚に温かく聴くということとで、会長の黒川さんはカウンセラーの仕事をする中で、この考え方に会いました。「解決のためのアドバイスをするのではなく、悩みや不安をありのままに吐き出してもらうことで、少しでも心の負担を軽くするお手伝いをしたい」。そんな思いの下、仲間に声をかけ、5人のメンバーで平成20

活動場所 日光・鹿沼市内

会長 黒川 貢

会員数 91名

メンバー(後列左から) 齋藤宮子、渡辺久子、齋藤和子、
 福田直子
 (前列左から) 福田真由美、手塚良子、黒川貢、
 神林すみ子、大島美知子

問合せ 黒川貢 ☎ 26-5927

傾聴ボランティアは特別な資格は必要ありませんが、一定のスキルが要り、トレーニングが必要です。毎月の学習会では、自分も相手も大切にしたい自己表現を身に付けるアサーショントレーニングなどでスキルアップを図っています。

メンバーの齋藤宮子さんは「傾聴は人の涙を受け止めること。自分の意識改革にもなる。もっと学びたい」と意欲的です。加入して約4年になる大島さんは「今では



毎月の学習会で熱心に学ぶ

年に日光市内で活動をスタートさせました。

「相手の話を熱心に聴くことは辛抱が必要では」という質問に、「理解できない、などと思ってしまうことは人間同士なのでやはりある。そう思う自分がいることを客観的に認識する「自己一致」が必要。その視点が身に付くと否定せずに相手の話を受け入れられるようになるし、自分自身の人間関係も楽になる。傾聴は自分のためにもなる」と会長の黒川さん。

主人にも優しくできる」と笑顔で振り返っています。手塚さんは「自殺未遂経験を打ち明けてもらったことも。人生の一部に開かれていると感ずる」とやりがいを感じています。メンバーは現在91名。95歳の方も活動しています。

黒川さんは「今は、本音を話さない、話せない風潮がある。若者や子育て世代など、多くの方の助けを求めている」と今後の抱負を熱く語ってくれました。

取材中、皆さんの温かい姿勢に自然と心が開かれていくように感じました。毎月の学習会是一般の方も参加自由。相手も自分も思いやる「傾聴」に触れてみませんか。

紹介したい人、サークルを募集しています

クローズアップ日光人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びびくわくは
 秘書広報課 広報広聴係
 ☎(21)5135

まちのほっとNEWS



総鎮守虚空蔵尊宵祭り [1/9・日光]
 新春恒例の日光東町六力町の総鎮守虚空蔵尊の宵祭り。露店で活気あふれる稲荷町の境内は、地元や各地からの参詣者でにぎわいました。
 丑年・寅年生まれの方が守り本尊参りに、数え13歳の年男・年女が知恵を授かる十三参りに次々と訪れまし
 た。それぞれ手を合わせ年頭の願い事をしました。



文・写真：下鉢石町自治会祭儀部

とんとん雪あそび [1/11・日光]
 奥日光ならではのパウダースノーを満喫してもらおうと、大人も子どもも、とんとん雪とふれあうイベントを開催しました。
 ふかふかの雪の上をスノーシューで駆け回ったり、生き物の雪像を作ったりしました。固まりづらいパウダースノーに苦戦しましたが、みんなですてきな雪像を作りました。



文・写真：日光湯元ビジターセンター

公共施設のあり方を考えるシンポジウム [1/24]
 市が保有する公共施設の更新問題について、市民の皆さんと情報を共有しながら一緒に考えていくためのシンポジウムを中央公民館で初開催しました。107名が参加し、東洋大学客員教授の南学氏による基調講演や、公共施設の適正配置に関する市民検討委員会メンバーによるパネルディスカッションなどを行いました。



文・写真：行政改革課

日光女子科で取り組んだ地域貢献 [1/30・今市]
 今市中学校3年6組は、総合的な学習の時間に「日光を明るく元気にしたい」という願いで、「Rising N i k k o」と称するダンスイベントをイオン今市店で開催しました。生徒は自分の得意な面を生かし、ダンスやボスターを考えるなど、準備を進めてきました。イベント後、生徒は満足した様子でした。



文・写真：今市中学校

日光フォトコンテスト公開審査会 [1/31]
 日光総合会館で、2014日光フォトコンテストの公開審査会を開催し、岩手県から宮城県まで全国から寄せられた892点の応募作品を一堂に展示しました。
 世界的に活躍している写真家の吉野信氏による審査の結果、最優秀賞に太田市の石川勝久さんの「凍る渓谷」など50点が入賞しました。



文・写真：日光フォトコンテスト実行委員会

日光「女子旅観戦モーターツアー」 [1/31・日光]
 日光の冬季の魅力発信し、観光誘客を図るため、1月31日(土)・2月1日(日)に、日光「女子旅」観光モーターツアーを実施しました。
 市に本拠地を置く「H.C. 栃木日光アイスバックス」の試合観戦や選手との交流、市内のパワースポット巡りなど、参加した皆さんに冬の日光を満喫してもらいました。



文・写真：観光振興課

身近なニュースを募集しています

まちのほっとニュースでは、皆さんから記事の投稿を募集しています。

募集する記事 自治会の催しや、地域のちよっと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によって掲載できない場合があります。

応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールでご応募ください。

○記事：140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)

○写真：紙焼きしたもの・デジタルデータどちらでも可能です。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうものは不可とします。

あて先 〒321-1292 今市本町1番地
 日光市役所 企画部
 秘書広報課 広報広聴係
 メール nishokouhou@city.nikko.lg.jp